

JAXA宇宙探査イノベーションハブ 第7回研究提案募集(RFP)説明会

宇宙探査イノベーションハブの紹介

2021年6月9日

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙探査イノベーションハブ
ハブ長 船木一幸

月・火星へ向けた国際宇宙探査の動きが加速

宇宙探査が広がりを持つためには、これまで探査に関わってこなかった企業・研究機関・大学等が多く参画することが重要



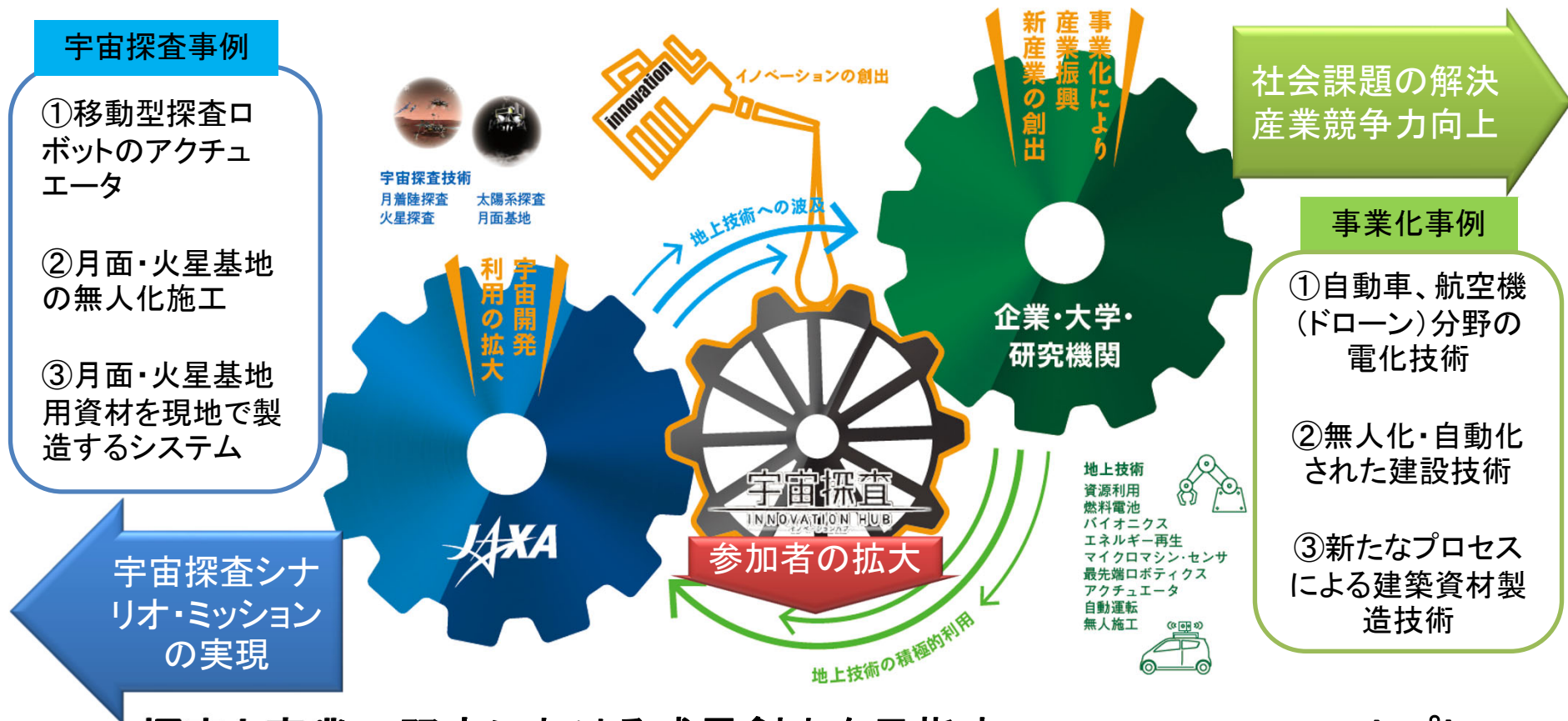
国際宇宙探査ロードマップ(2021.02)

宇宙探査イノベーションハブ（探査ハブ）では、
非宇宙分野の企業や大学の事業化を支援し
つつ、宇宙探査の持続的な発展を目指した技
術研究開発を実施しています

- 探査ハブが目指すところ
- 探査ハブの研究領域（分野）
- 探査ハブ共同研究のポジション
- 探査ハブ共同研究の課題設定プロセス

宇宙探査イノベーションハブが目指すところ

宇宙探査イノベーションハブは、JSTによるハブ構築支援を受けながら、**従来の宇宙関連企業への発注型から転換し、異分野融合によりイノベーションを創出しするための新たな仕組み**を構築してきた。



探査と事業の双方における成果創出を目指すDual Utilizationコンセプト

探る

- 小型ロボによる探査
- 小型高パワーのモータ
- 僅かな水を検知するセンサ

作る

- 砂からの資源抽出(水や鉱物)
- 水を使わないコンクリート

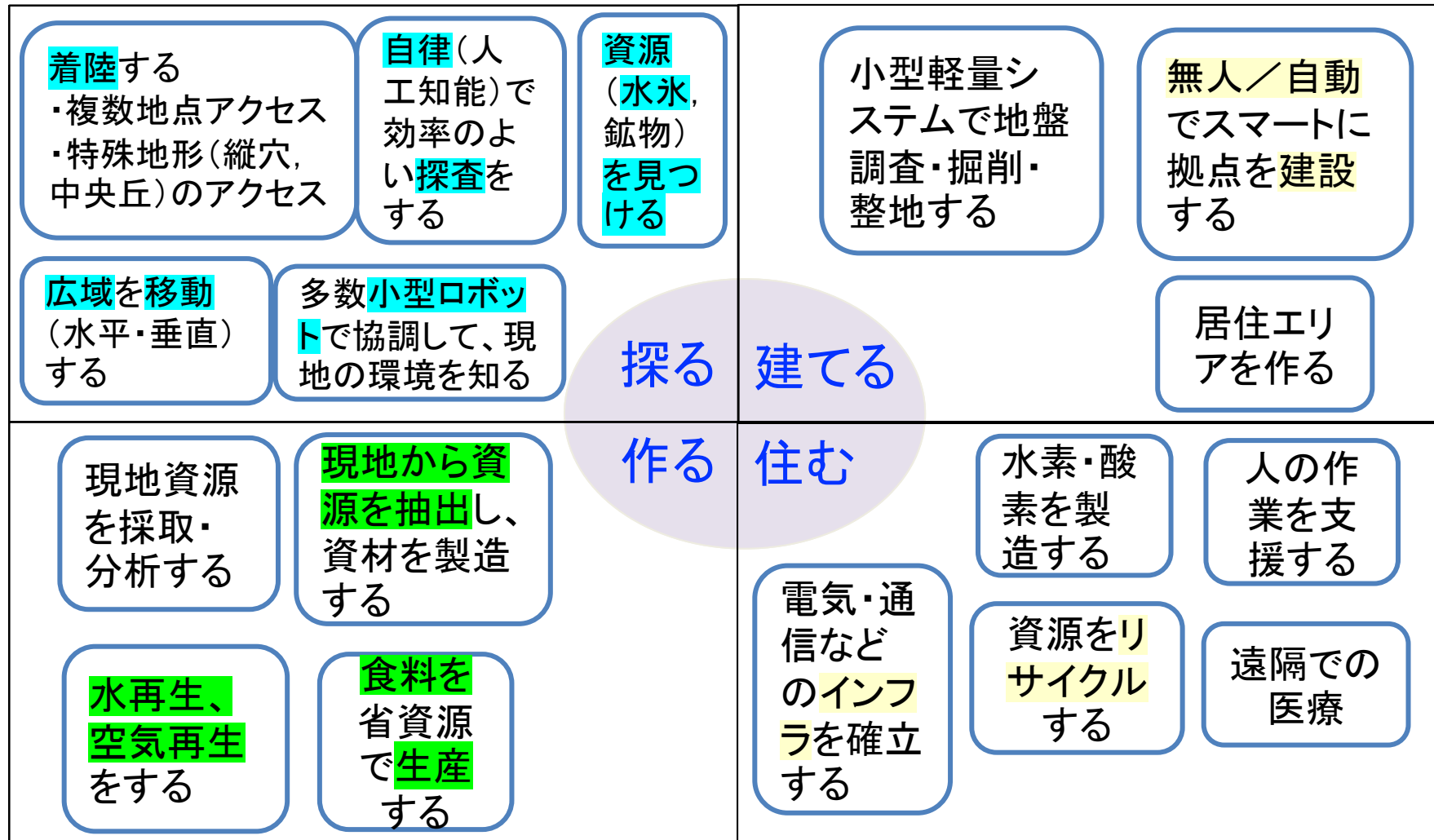
- 日本が得意とする技術を発展
- 将来の宇宙探査に応用しつつ
- 産業競争力も向上

建てる

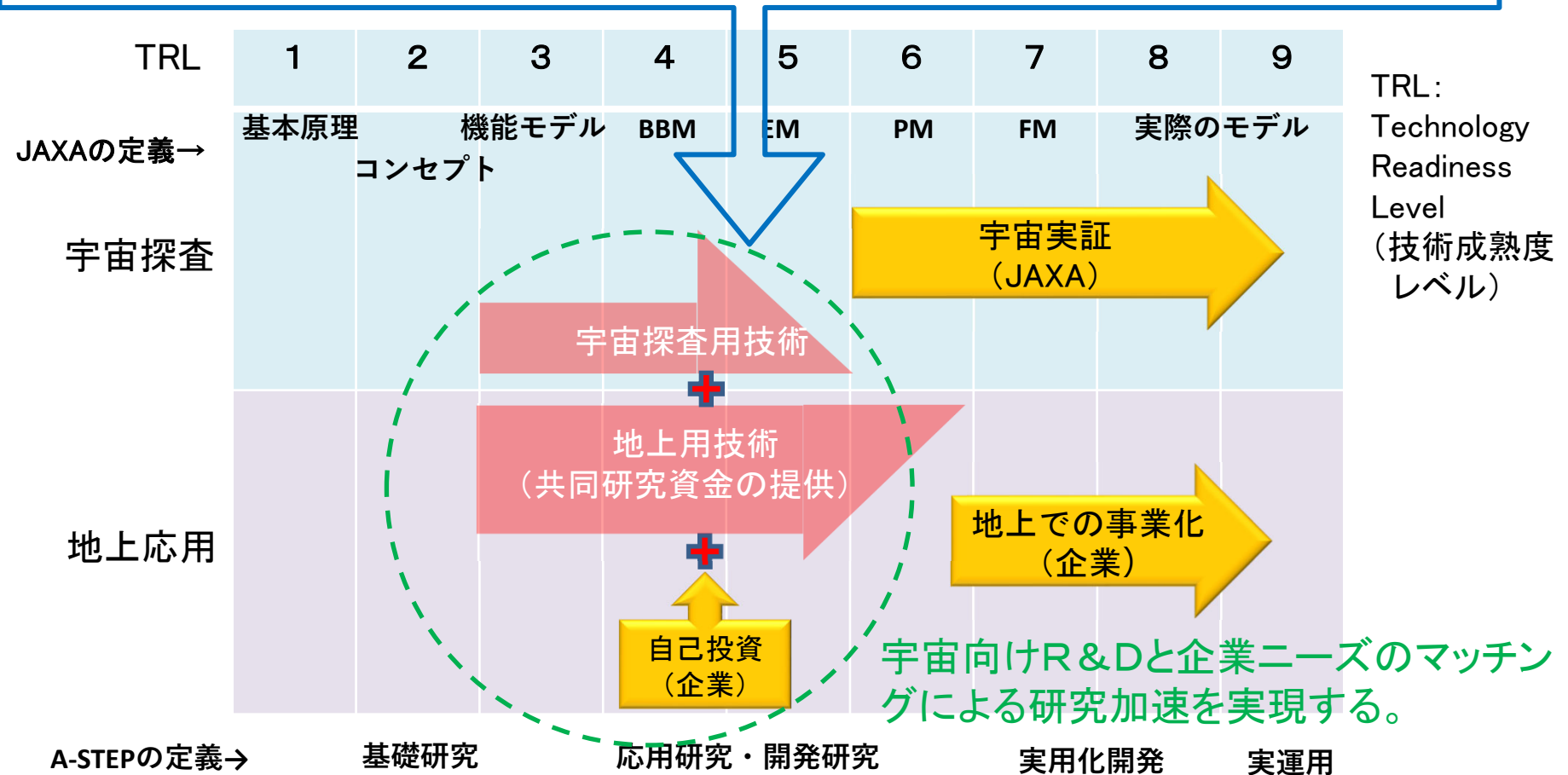
- 遠隔操作による無人建設
- 軽くて大きな建設機械

住む

- インフラ技術(再生可能な燃料電池等)
- 植物生産
- 放射線防御



共同研究により、宇宙探査用技術としてはTRL5(宇宙実証の手前)まで、地上応用としてはTRL6~7(実用化研究の手前)まで、技術レベルを引き上げることが目標



企業ニーズや研究動向について広くご意見をいただいた上で
研究テーマを設定・実施するオープンイノベーションの場を提供

＜地上と宇宙の共通技術課題の収集・議論＞

- ・宇宙探査オープンイノベーションフォーラム
- ・各領域の課題設定ワークショップ
- ・技術提案要請(RFI、2021年3月までに699件)

外部コミュニティ
(非宇宙業界)との連携:

建設・建築
自動運転
植物工場
...

＜研究募集＞

- ・研究提案募集(RFP7、22件を募集)

研究テーマ:
探査への貢献はもちろん、
各種産業へと直結する優
れた事業性を持った課題

＜テーマ選定＞

- ・研究調整、チーム編成
- ・共同研究開始
期間: 1～3年
資金: 300万～1億／年(テーマ毎に設定)

チーム編成:
今まで宇宙開発に関わり
のなかった企業の皆様
+ JAXAスタッフ